

# 弾薬費4倍800億円計上へ

## 防衛費予算案

### 戦闘継続力向上の一環

政府は、二〇二三年度予

算案の防衛費に、長射程ミ

サイルを含む弾薬の経費として八千二百八十三億円を計上する方向で調整に入った。

自衛隊の戦闘継続能力(継続能力)向上の一環で、近年は二千億円前後で推移しており、四倍近い額になる。防空能力強化のため新造する「イーシス・システム搭載艦」の整備には二千二百八億円を確保する。関係者が十九日、明らかにした。

弾薬費の拡充は台湾海峡情勢などを踏まえ、有事が発生した際に備蓄が不足しかねないとの判断がある。戦闘機など主要な装備品の取得を優先してきた従来の防衛力整備の見直しとなり、説明が求められそう

来年度の防衛費は過去最大の約六兆八千億円(米軍再編経費を含む)とする方針。国家安全保障戦略に反撃能力(敵基地攻撃能力)の保有を明記したことを踏まえ、米国製巡航ミサイル「トマホーク」の取得費二千百十三億円など、長射程ミサイルに多額を計上する。

弾薬費には、陸上自衛隊の12式地对艦誘導弾の射程を延ばす「改良型」の開発に三百二十八億円、量産に九百三十九億円を盛り込む。従来の魚雷よりも静粛性を高め、探知されづらい新型魚雷も八十六億円で調達する。長射程ミサイルは大型のため、五十八億円を保管庫整備に充てる。

継続能力では、稼働でき

#### 継続能力強化のポイント

- ◆長射程ミサイルを含む弾薬費は近年の4倍近い8283億円
- ◆米国製巡航ミサイル「トマホーク」取得に2113億円。陸上自衛隊の12式地对艦誘導弾改良型の開発に338億円、量産に939億円
- ◆稼働できない機体の部品を他機の修理に流用する「共食い整備」問題の解消に向け、装備品の維持・整備費は22年度当初から2倍近い2兆355億円を確保

ない機体の部品を他機の修理に流用する「共食い整備」といった部品不足の問題

題解消に向け、装備品の維持・整備に二三年度当初から二倍近い二兆三百五十五億円を確保する。  
イーシス・システム搭載艦は、地上配備型迎撃システム「イーシス・アショア」計画にかわり二八年度までに二隻を就役させる。来年度は関連部品の取得費を計上する。